

農林水産商工常任委員会資料

(令和7年2月25日)

項 目

ページ

- 国内外の経済変動に向けた商工団体・金融機関との緊急連絡会議の開催結果について
【商工政策課】………… 2
- 「とっとり産業未来フェス」の開催結果について
【産業未来創造課】………… 3
- 「鳥取県版政労使会議」の開催結果について
【雇用・働き方政策課】………… 5

商 工 労 働 部

国内外の経済変動に向けた商工団体・金融機関との緊急連絡会議の開催結果について

令和7年2月25日
商 工 政 策 課

第二次トランプ政権の始動に伴う関税強化等の通商・経済政策や、日本銀行の政策金利の追加利上げなど、国内外の経済環境が変動する中、県内経済・企業等への影響を共有して対応を協議するため、商工団体・金融機関との緊急連絡会議を開催しました。

1 日時 令和7年1月29日（水）午前11時から午前11時50分まで

2 場所 ホテルニューオータニ鳥取 鶴の間(西)

3 出席者

〔商工団体〕 鳥取県商工会議所連合会、鳥取県商工会連合会、
鳥取県中小企業団体中央会
〔金融機関〕 (株)山陰合同銀行、(株)鳥取銀行、鳥取信用金庫、
倉吉信用金庫、米子信用金庫、鳥取県信用保証協会
〔鳥 取 県〕 鳥取県知事、商工労働部長



4 議事 国内外の経済動向、県内産業の諸課題の現況と対応状況等

5 主な意見

〔国際経済環境〕

- ・トランプ政権の影響はまだ分からないが、下請けの多い山陰地方への関税政策への波及が懸念。
- ・物価高や賃上げが課題の中、トランプ政権誕生で不確実性が高まる。行政支援策等を活用しながら、金融機関等が連携して支えていくことが必要。

〔資金繰り環境〕

- ・現時点の金利上昇はそれほどでもないが、今後の上昇による長期的影響が不安との声がある。
- ・ゼロゼロ融資の返済開始に伴い資金繰りに苦慮する事業者もあり、県の制度融資の借換資金や地域経済変動対策資金などの延長を期待したい。
- ・貸付金利が上昇する中で、県のゼロゼロ融資の金利据置きの検討は、事業者としては大変ありがたい話であり、借換資金等の継続も含めてぜひお願いしたい。

〔賃上げ・人材確保・価格適正化等〕

- ・小売等からは、価格転嫁による客離れを心配する声がある。
- ・生産性向上による賃上げは、なかなか簡単なことではない。
- ・最低賃金の上がり幅も大きく、人材確保に二の足を踏む事業者もあるとの声を聞いている。県の支援施策等も活用しながら、経営改善支援に取り組んでいきたい。
- ・人手不足の中では、生産性向上は事業者として避けては通れない課題。
- ・人手不足はあらゆる業種の課題だが、飲食・宿泊ではタイミー（スポットワーク）が上手く機能しているとの声がある。
- ・業種・規模によって労働分配率に差がある。様々な場面で、労務費を含めた適正な価格転嫁への理解促進を進めてもらいたい。

〔その他〕

- ・製造業、非製造業ともに原材料高、人手不足、人件費増が経営上の課題となっている。本日説明のあった県施策などを活用しながら支援していく。

6 意見への対応

国内外の経済変動を乗り越えていくため、会議でいただいた意見等を踏まえて、令和7年度当初予算案の中に資金繰りや賃上げ・価格適正化、激動する国際経済環境への対策等を強化する事業を盛り込み、関係団体と一体となって事業者を支援していく。

「とっとり産業未来フェス」の開催結果について

令和7年2月25日
産業未来創造課

県内の優れた技術や製品等のほか、エコカー、水素関連技術、宇宙ビジネス、フードテック、デジタルコンテンツ等の次世代産業参入の取組紹介や、普段体験できない先端テクノロジーなども一堂に展示・紹介することで、出展者をはじめ産学官の交流による新事業創出や、未来の産業を担う若者の県内定着に寄与することを目的として、このたび「とっとり産業未来フェス」を開催しました。

1 日 時 令和7年2月7日(金)、8日(土) ※両日とも午前10時から午後5時まで

2 場 所 米子コンベンションセンター及び米子市文化ホール(米子市末広町)

3 テーマ ここにしかない、鳥取のものづくり、未来の技術、サステナブル・音楽・アート・食！
～鳥取の「未来」に出会う2日間～

4 主 催 鳥取県

協力：(一社)鳥取県情報産業協会

5 後 援 鳥取大、鳥取環境大、米子高専、県商工会議所連
合会、県商工会連合会、県中小企業団体中央会、
県産技センター、鳥取県産業振興機構、鳥取県発
明協会、ふるさと鳥取県定住機構、中国経済産業
局、米子市、日刊工業新聞社

6 来場者 2日間で延べ7,000人

7 内 容



○新型コロナウイルス感染症の影響で中断していた県内産業展示イベントを、ものづくり・IT先端技術・音楽・アート等を融合した県内初の複合型総合産業展示イベントとしてパワーアップして開催。

○「ものづくり・食品 expo」「IT先端技術 expo」「クリエイターズ expo」「音楽・ダンス expo」「とっとりフード expo」「eスポーツゾーン」を設定し、92企業・団体によるブース展示のほか、セミナー・トークショー・ダンス大会など24イベントも開催

・企業の出展内容は、来場者が県内産業や先端技術を身近に感じられるよう、体験型ブースを数多く設置

○多くの若者に来場いただき、県内企業や先端テクノロジーを知っていただくために様々な工夫を実施

・鳥大生向けの西部地区企業訪問バスツアーと連携し、訪問先に本フェス会場を設定(2/7)。(公財)ふるさと鳥取県定住機構と連携し、東中部の小学生から大学生とその保護者向けの無料送迎バスを運行(2/8)
・近隣の産業人材育成センターや専門学校の生徒が授業の一環として来場
・大学生や高校生による運営協力(大学生ボランティア団体/古着販売、西部地区高校生/eスポーツゾーン、県IoT人材育成事業で優秀作品を製作した倉吉農高生・大学生など)

○オープニングイベントとしてトヨタ自動車株式会社Executive Fellow 河合満氏による脱炭素技術セミナーを開催(参加者約130人)したほか、IT・AIセミナー、SDGs・先端科学ライブ、地方におけるコンテンツ創作・開発に関するトークセッションなどステージイベントも多数実施

会場	分野	内 容
米子コンベンションセンター	ものづくり・食品 expo	・県内企業の優れた製品・技術の展示 ・エコカー、水素関連技術、宇宙ビジネス、フードテック等の次世代産業参入の取組内容の展示・紹介 ・トヨタの協力によるFCV自動車やHV自動車のカットモデルなどの特別展示
	IT先端技術 expo	・中四国初登場のトランスフォームロボットによる変形実演(1日5回)と乗車体験撮影会(1日3回)や、最新のVRグラス、手話動作のテキスト変換サービス、肌カメラとAI技術による最適なスキンケア提案などの展示 ・大阪・関西万博PRコーナーとして、空飛ぶクルマVRを体験
	クリエイターズ expo	・「とっとりクリエイターズ・ビレッジ」メンバー5名の作品公開や体験 ・県内クリエイター向けの作品展示コーナー設置や、講談社編集部員による相談会、コンテンツ関連企業の商品展示 など
	アート・サステナビリティ expo	・障がい者アートの展示や同アートをモチーフにしたトートバックづくり、開館間近の県立美術館によるワークショップ、学生団体による古着リサイクル など
文化ホール	音楽・ダンス expo(2/8のみ)	・鳥取・島根の各地区代表8チームのダンサーによる決勝大会
	eスポーツゾーン(2/8のみ)	・世界的ゲームクリエイターを迎え、対戦の実況中継などをeスポーツ世界大会の模擬体験を開催
	とっとりフード expo	・県産の食材を使用したキッチンカーによる出展

※悪天候の影響により、屋外を会場としたイベントを中止又は縮小。

・屋外での乗車体験(小型EV、水素発電自転車)の中止、キッチンカー出展の縮小 など

8 イベント参加に関する主な意見・感想

(1) 来場者

- ・地方ではなかなか体験できない機会でもとても良かった。今回のようなイベントは歓迎！
- ・今回のような色々な会社や技術を、体験を通じて知ることができるイベントに参加したい。
- ・普段見られない企業のもので面白かった。来年もぜひ開催してほしい。
- ・expo や万博のようなイベントを今後も定期的に開催してほしい。
- ・新しいことを知ることができたので、すごく楽しかった。
- ・雪のない時期に開催してほしい。

(2) 出展者

- ・自社の認知度を高めることをねらいに出展したが、学生や学校関係者、地元企業はもとより、未来の人材である子ども連れの家族にもPRでき、大変有意義な機会となった。(ものづくり企業)
- ・一般の方と多く交流ができ、普段の業界向け展示会とは異なる新発見があった。(ものづくり企業)
- ・新たな販路開拓や協業の可能性が広がる手ごたえを得ることができた。(ものづくり企業)
- ・展示ブースの場所が関連ある企業・団体でまとまっていたため、多くの方に取組を効果的に紹介できた。また、出展企業との交流も多くでき、有意義なイベントだった。(鳥取大学)
- ・一般来場者の宇宙関連分野への関心が想像以上に高く、自社の取組を紹介できてよかった。また他の出展事業者と交流できてよかった。(宇宙関連分野の企業)
- ・自社製品について褒めていただく声をたくさん聴くことができ、出展できて本当に良かった。今後の事業展開にもプラスになるようなつながりを得ることができた。(スタートアップ企業)
- ・保護者も興味を持ち、早速アプリをダウンロードするなど良い反応だった(I T先端技術分野)
- ・鳥取県で活用実績がない教育コンテンツのPRを行ったが、子どもたちの順番待ちができ、様々なリクエストがあるなど、やりがいを感じられるイベントだった。(I T先端技術分野)

【I T先端技術 expo】

(人気のトランスフォームロボット実演)



【ものづくり・食品 expo】



(トヨタによるエコカー特別展示)



(スタートアップブース)



【クリエイターズ expo】



【アート・サステナビリティ expo】



「鳥取県版政労使会議」の開催結果について

令和7年2月25日
雇用人材局雇用・働き方政策課

2025年春季労使交渉の本格スタートに先立ち、県内中小企業の賃上げ環境整備を進めていくため、県内の政労使のトップが意見交換を行う「鳥取県版政労使会議」を開催しました。会議では労使双方の代表から賃上げに向けた現状と課題を共有し、政労使が一体となり、持続的な賃金引上げの実現、価格適正化への県民理解の醸成を図っていくことを確認しました。

1 日時・会場 令和7年1月24日（金） 午前10時から10時50分まで 県庁特別会議室（議会棟）

2 出席者

経済団体 一般社団法人鳥取県経営者協会、鳥取県商工会議所連合会、
鳥取県商工会連合会、鳥取県中小企業団体中央会
労働団体 日本労働組合総連合会鳥取県連合会
行政機関 市長会、公正取引委員会、中国経済産業局、鳥取労働局
鳥取県



3 行政説明内容

- ・労働局（賃上げを起点とした「成長と分配の好循環」の動き、業務改善助成金、キャリアアップ助成金 等）
- ・公正取引委員会（労務費転嫁交渉指針のフォローアップの結果 等）
- ・中国経済産業局（価格交渉・価格転嫁の状況、パートナーシップ構築宣言 等）
- ・県（持続的な賃上げ・生産性向上支援補助金、価格適正化・賃金アップに向けた専門家相談窓口 等）

4 意見交換内容

- ・労務費の適切な価格転嫁に対する企業の取組姿勢には温度差もあり、実効性向上のため踏み込んだ対応が必要。行政施策を十分活用し、成長と分配の好循環に向けて関係団体と一致団結して取り組みたい。（経済団体）
- ・価格転嫁の問題等については労使間で共通認識があると思う。今の情勢から価格転嫁に伴う値上げが必要なことを県民にも理解して貰うことが必要。我々もできることはやらせていただきたい。（労働団体）
- ・経済全体の好循環に向けて価格転嫁の必要性を最終消費者にも理解いただく取組が必要。（経済団体）
- ・人件費、資材費の上昇により価格転嫁しやすい状況になっているとの声が企業からある一方、消費者の購買意欲低下を感じている。小規模な家族経営者等では、価格転嫁・賃上げの好循環になかなか乗れない。（経済団体）
- ・大企業に対して中小企業は価格交渉力が弱い。メーカーは卸値を上げてくるが消費者が離れるため川下では価格転嫁できない。賃上げには賛成だが、急激な上昇となると企業がもたない。（経済団体）

【参考】県の賃上げ関連施策

■価格適正化と賃金アップに向けた専門家相談窓口（令和5年7月～）

取引価格の適正化や生産性向上、業務改善などの具体的な方法を専門家に相談できる窓口を開設。

■持続的な賃上げ・生産性向上支援補助金（令和5年12月～（名称変更、助成内容の拡充等を図りながら継続実施））

一定水準（3%）以上の賃金引上げを行う県内中小事業者を対象に、経営力向上に直接資する設備投資、人材育成等を支援し、経済の好循環を実現していく。（【一般型】補助率1/2～3/4・上限500万円、【大規模成長投資型】補助率1/2・上限1,500万円 など）

■賃金アップ支援策の普及啓発（令和6年9月他）

最低賃金改定に合わせた国・県の賃上げ関連施策周知チラシの全県新聞折込みや補助金申請募集に関するチラシ掲載等を実施。